

環境月報

*Environmental Activity
Monthly Report 13.Mar*

3
'13 Mar.1~31



サンシングループ

サンシングループ環境方針



環境理念

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果を追求し、継続的な製品供給とRoHS対応製品の開発など地球環境にやさしい先進技術を通し、電機業界および社会へ貢献して参ります。とくに、地球環境保全のための諸活動を重要なCSRと認識し、継続企業としての責務を果たしつつ、将来にわたり地球環境の保全に貢献して参ります。

環境方針

1. 事業活動において、省資源化、廃棄物質の削減、環境関連物質の管理を徹底し、環境の維持・改善および環境汚染の予防をはかって参ります。
2. 環境に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスを徹底して遂行し、環境保全に貢献して参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた具体的な目的・目標を設定し、数値により管理できる判りやすい環境管理システムを構築・運営して参ります。
4. 環境管理システムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な継続改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成19年8月24日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗

今月のグループ代表の一言

今月のグループ代表の一言



米国における原発の動向に変化の兆しがみえてきた。先日、米国キウオーニー原発の廃炉が決定されたが、これは寿命もしくは何らかの欠陥があるというものではない。実は、「原発はコストがあわない」という理由なのである。米国では、シェールガス採取を技術的に成功、大量生産がおこなわれはじめた。さらに米国では油田が次々にみつかり、2020年にはサウジアラビアの1日1000バレル生産を超え、1200バレルにも達するという。突然のごとく、米国が資源大国となったのである。そして放射能ゴミ処理までのトータルコストが高くつく原発は、次々と廃炉に追い込まれるという。しかしながら、原発はCO₂を排出しない、もっとも安価で環境的にもすぐれた発電方法と世界中に流布していたのは米国である。この米国の手のひら返し、矛盾性が物語るものは、わが国のエネルギー政策にたいしても、大きな意味を持つだろう。

SANSHIN GROUP
代表 石井宏宗

3月号 INDEX

3月号 INDEX



- PAGE 1 ……今月の表紙
- PAGE 2 ……サンシングループ環境方針
- PAGE 3 ……今月のグループ代表の一言
- PAGE 4 ……INDEX
- PAGE 5 ……今月のトピックス

PAGE 5 …… 火災と環境について

各管理項目の今月の状況

—各項目の今月の監視測定結果詳報—

- PAGE 6 …… 三新香港有限公司紹介
- PAGE 7 …… 各廃棄物(SSD/本社)
- PAGE 8 …… 各廃棄物の割合(SSD/本社)
- PAGE 9 …… ペットボトルのキャップ(SSG)
使用済み切手(SSG)
- PAGE 10 …… コピー用紙使用量(SSD/本社・関西)
- PAGE 11 …… 電力使用量(SSD/本社・関西)
- PAGE 12 …… 電力使用量(SKW/朝日)(SFN)

- PAGE 13 ……各部門の活動報告・提案

PAGE 13 …… 環境学習施設の紹介

今月のトピックス

火災と環境について

林野や建物の火災は、本来そこでは発生しないはずのCO₂や ばい煙、特に建物火災においては建物内部の化学物質の燃焼により多くの有害物質が発生し、燃焼時間が長いほど環境に対して悪影響を及ぼす物資が多く排出されます。

最近湿度の低下により火災の発生頻度が増えております。
火災は、大半の物を焼きつくし居住区・職場などを失います。
火の元には十分に気をつけて下さい

初期消火の時期

木造家屋の火災は、平均すると全焼にいたるまで約20分程度と言われております。
火災の燃焼がどれくらいの時期までが初期消火が可能かを見極めるものまた難しいことです。
一般に初期消火が可能なのは、天井に火がまわるまでといわれております。
これが初期消火の限界と考えて、天井に火がまわれば、現場に到着する消防隊にまかせてください。
また、大声で周りの人に火災であることを知らせることも大切です。
一人での消火活動を考えずにみんなで協力することも大切です。



初期消火の時期

出火してから2分前後で壁板、ふすま、障子などの立ち上がり面に燃え移る。



消防隊による消化活動

天井に燃え移るまでに約2分30秒。出火の場所や状態によってはもっと早い。



約5分後には、隣室各部屋へ延焼。火は2階の天井へ(約7分)。全焼まで約20分。

初期消火の重要性	火災による被害を小さくするには、消防車が到着するまでの間が非常に重要です。初期の段階で消火できれば火災が大きくなることを防ぐことができます。
初期消火のタイミング	炎が天井または、自分の身長以上に達するまでが消火できる目安です。
初期消火の要領	<ol style="list-style-type: none">1 あわてない2 大声で助けを求める3 119番する4 消火器をもってくる5 消火する
初期消火のポイント	『ゆっくり・慌てず・落ち着いて』この3つのポイントを忘れずに！ 姿勢を低くし熱や煙から身を守り、炎に惑わされず、火元に向けて消火しましょう。 不安な場合や身の危険を感じたら安全な場所に避難することも重要です。

初期消火の心得は、自宅・会社でも役に立つ知識です。
ですが、火災を発生させない事がもっとも重要性がありますのでお互いに注意しましょう。(事務局)

三新香港有限公司紹介

エコステージ導入事例集で紹介されましたのでお知らせします。

CASE 18
商社

三新電気香港有限公司

http://www.sanshin-ele.com/

国内本社の環境方針に沿って、海外拠点でも活動を展開



■事業内容: 半導体の販売、電子部品の開発・販売
 ■代表者: 代表取締役兼事業総経理COO 新井昌氏
 ■本社所在地: Room602, Winning Centre, 29 Tai Yau St, San Po Kong, Kowloon, Hong Kong
 ■創立年: 2002年4月
 ■従業員数: 4名
 ■認証レベル: エコステージ1 (2008年10月取得)

主な環境活動項目

- (1) 機密情報漏洩の防止
- (2) ソフトウェア及びデータの3S
- (3) 省エネ・省資源化の推進
- (4) 省エネ型製品の販売比率の向上
- (5) 顧客要求事項 (RoHS規制) 等の順守

背景・課題

ISO14001に準拠し、海外でも活かせる規格を導入

三新電気香港様は、電子部品商社サンシングループのすべての商材を扱う海外拠点です。サンシン電気のカスタム電源、標準電源、サンケン電気のパワー半導体、サンシングループ各社の電子部品を東南アジアの市場に幅広く販売し、サンシングループの顧客が海外展開する際のサポートも行っています。最近では日本で開発・中国で生産したLED照明関連商品の拡販にも注力しています。このサンシングループの指導の下、ISO14001に準拠した規格と環境経営を標榜するエコステージの理念が、海外拠点でも充分活かせるという判断により、エコステージ導入を決定しました。

活動内容

ハードディスクの3Sに着手、省エネ型製品の拡販も展開

創業以来行ってきた機密情報漏洩防止の対策を継続強化するとともに、ソフトウェア及びデータの3Sに着手しました。ハードディスク内の空き容量を40%以上キープし、ウイルス対策やPCのクリーン化などを定期的に行ってきました。省エネ・省資源については、社内での省エネ事務機器への置き換え、裏紙の利用率向上を行うとともに、省エネ型製品の販売比率の向上を目指し、LED照明及び省エネ型電源の売上拡大の目標をたててきました。また、RoHS規制などの顧客要求事項に対しては、CTIやSGSのテストレポートを添えて、顧客の信頼に伝えるようにしました。

効果

環境活動が評価され、香港でも企業の信頼性が向上

ハードディスク空き容量40%以上の確保については、2008年から2011年まで90%以上を継続し、目標を達成しました。省エネ型製品の拡販については、2009年を基準にすると2010年は約18倍、2011年には55倍の売上に大躍進を遂げました。また、社内の省エネ機器への置き換えは、2009年に30%、2010年には68%と着実に進展し、2年後には100%達成を目標としています。こうした定量的な効果の他、エコステージの認証取得が香港、中国でも評価され始めたことにより、同社の経営理念、環境理念、環境方針が香港においても理解され、企業の信頼性が高まっています。



省CO2削減に貢献する省エネルギーLED照明用電源



省エネ型PC・周辺機器の購入増加



省エネ製品の売上増勢

今後の計画

省エネ型製品の拡販は今後も継続し、毎年50%の目標値を設定しています。また、サンシングループでは、SRMを発定し、従業員の安否、顧客、仕入先の状況を各担当者が確認する仕組みが構築されていますが、震災などへの防災対策や不安定な政治状況を踏まえ、よりリスク管理を強化していく計画です。

担当評価員からのメッセージ

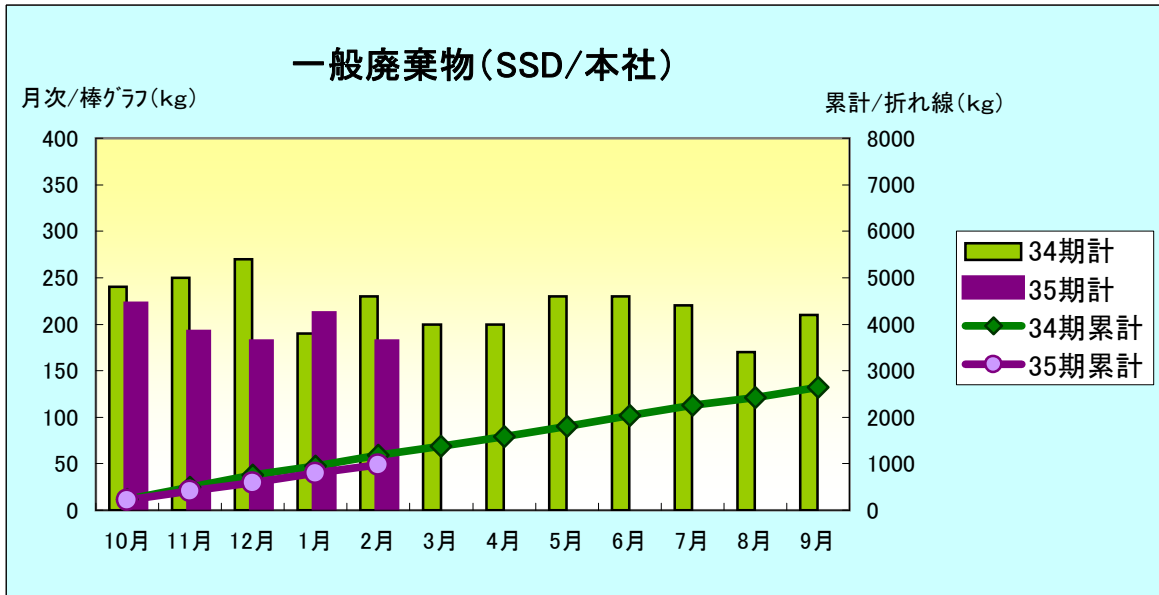
香港の拠点は少人数であり、香港人社員に担当職務以外に本社環境方針に沿った活動を指導し、環境への配慮を理解させることは簡単なことではありません。しかし、本社の指導力によってその苦労を乗り越え、数々の取り組みを定着させることで、省エネ型製品の拡販など香港拠点ならではの大きな成果が生まれたと思います。

©1 Centre Testing International Corporation ©2 SGS-SGS Taiwan LTD. ©3 SanShin Risk Management

今後の環境活動をよろしくお願ひします

(事務局)

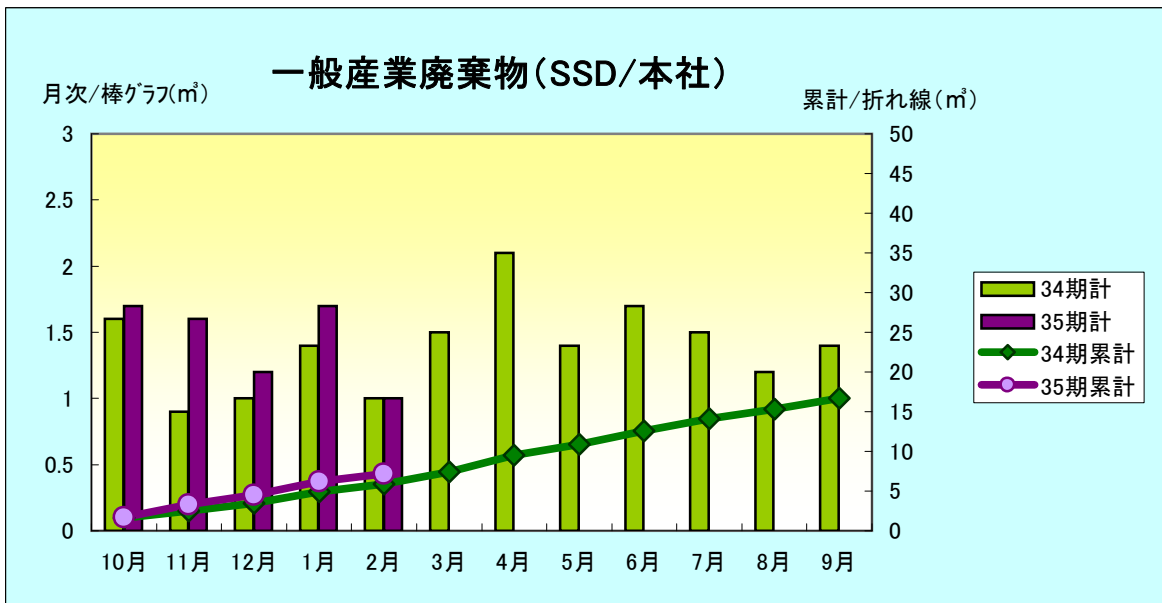
SSD(本社)



考察:

引き続きゴミの削減にご協力をお願いします。 (事務局)

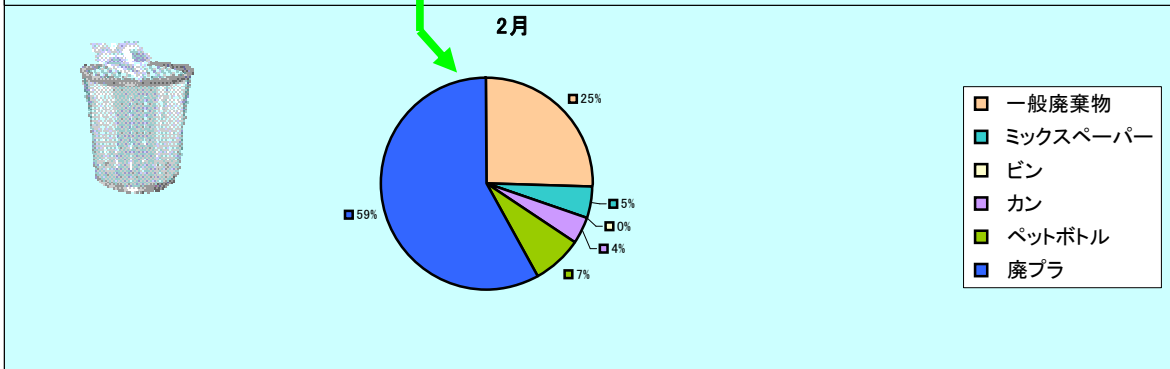
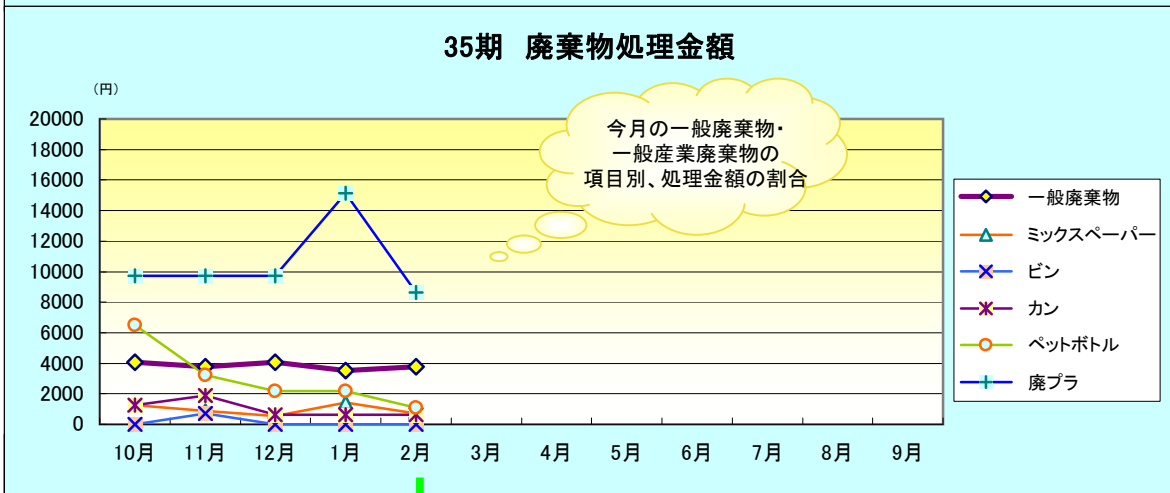
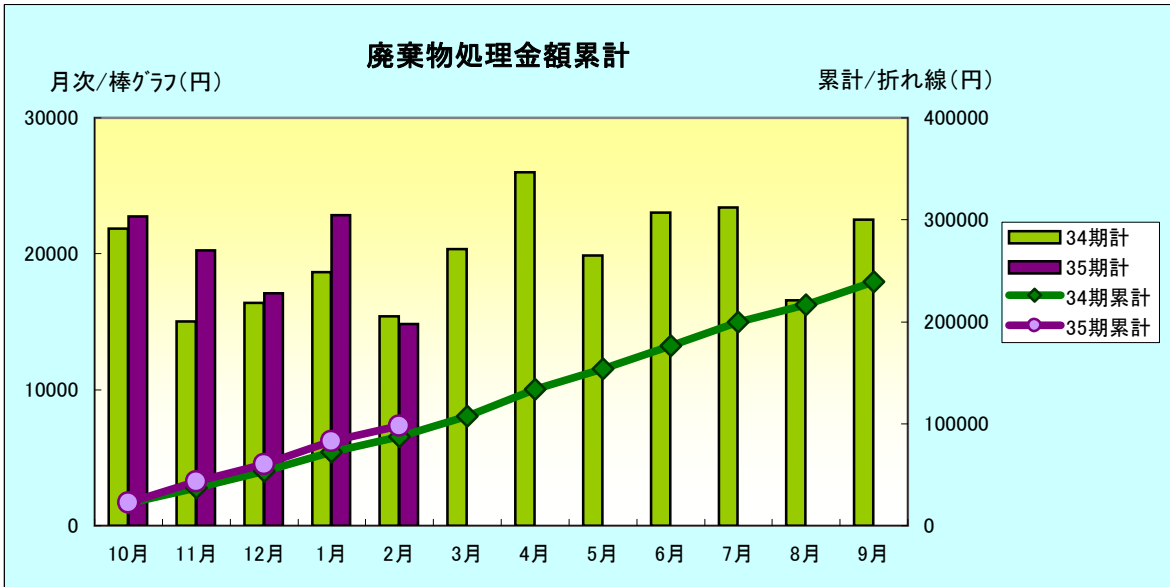
SSD(本社)



考察:

サンシン電気(本社)2Fの実験室等での出る、廃棄部品・基板などは売却処理をしています。 (事務局)

SSD(本社)



考察:

継続監視測定中

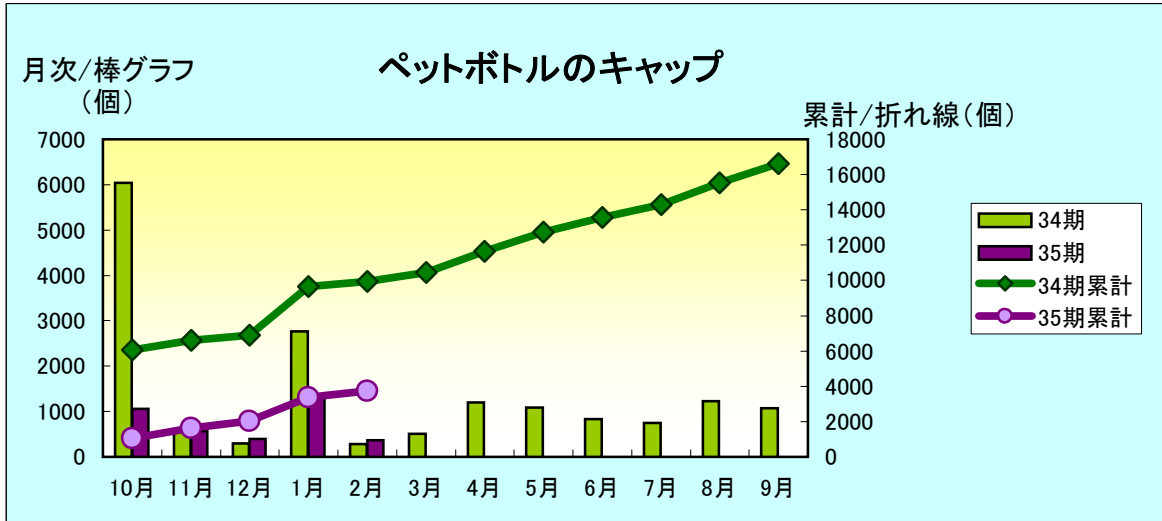
(事務局)

全社活動項目 (Part-4/7)

ペットボトルのキャップ

SSDグループ全社

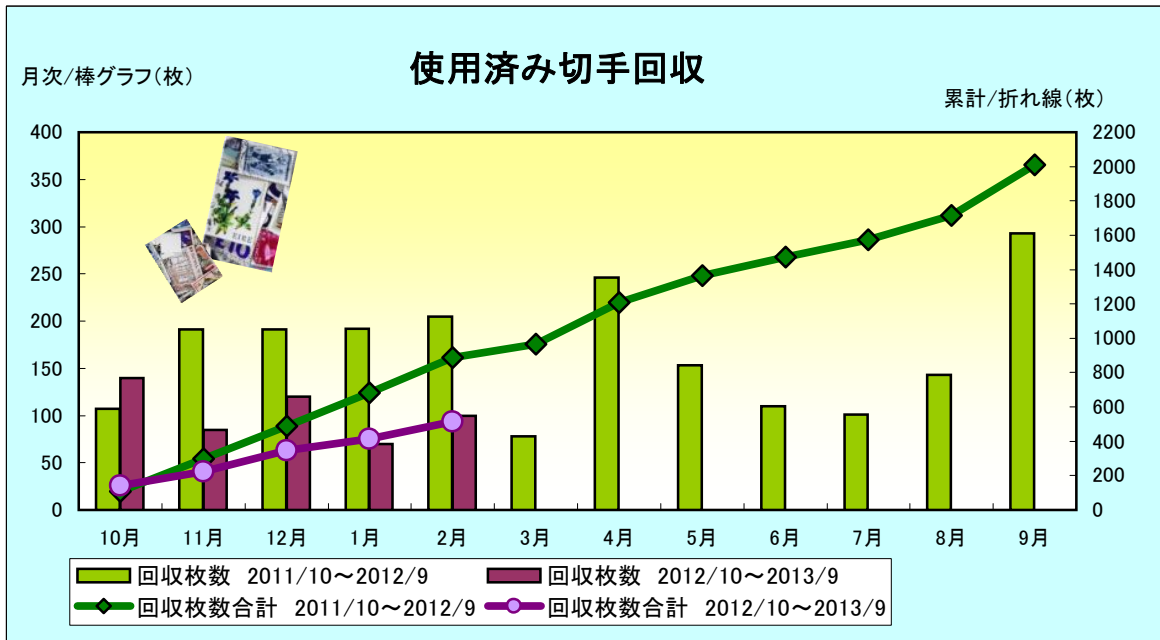
換金率:PETボトルキャップ
400個(約1kg) = 10円



考察:

ご家庭からもお持ちより頂き、ありがとうございます。
引き続き、エコキャップの回収に、ご協力をお願いいたします。 (事務局)

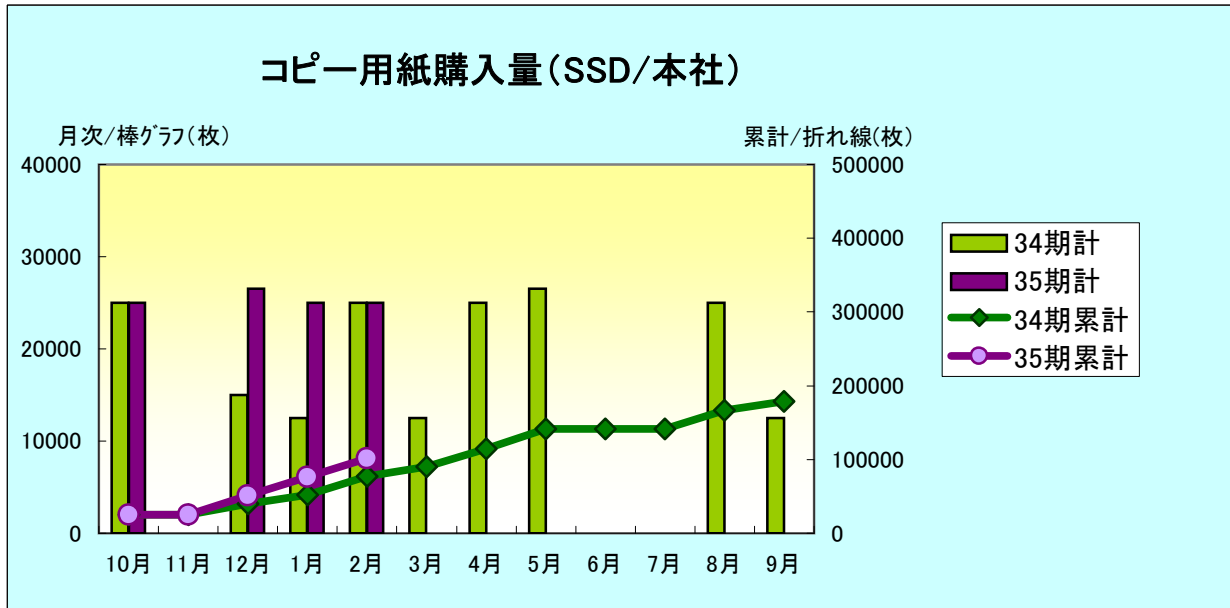
SSDグループ全社



考察:

封筒に貼ってある切手を回収しています、ご協力宜しくお願いします (事務局)

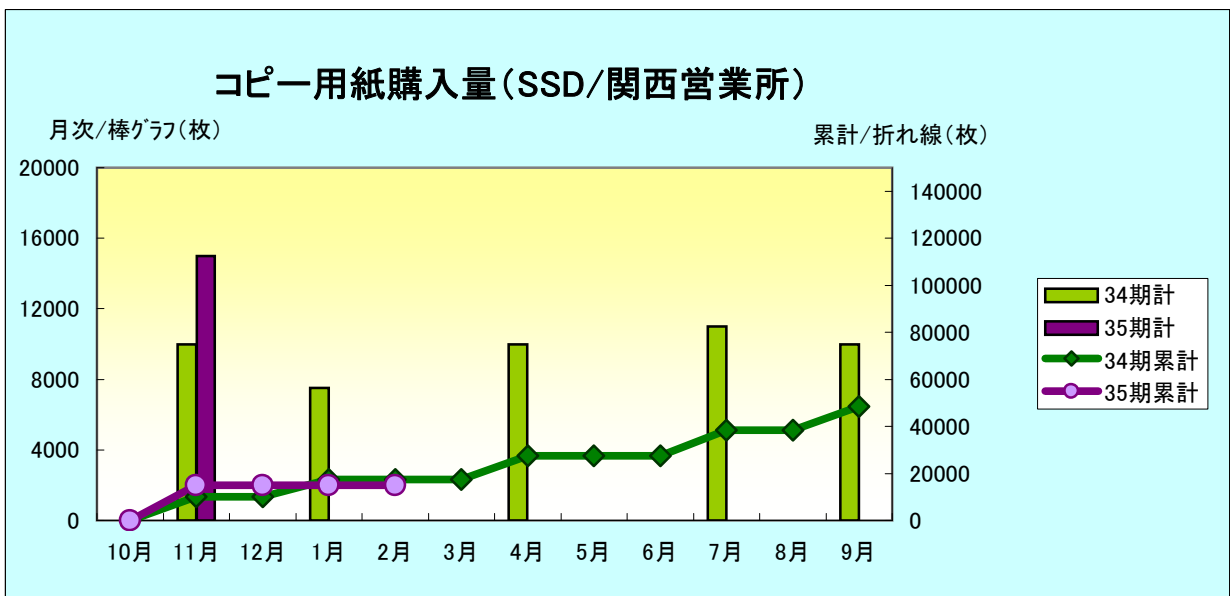
SSD(本社)



考察:

両面/Nアップを実施し、コピー用紙の削減に、ご協力をよろしくお願いいたします。
(事務局)

SSD(関西営業所)

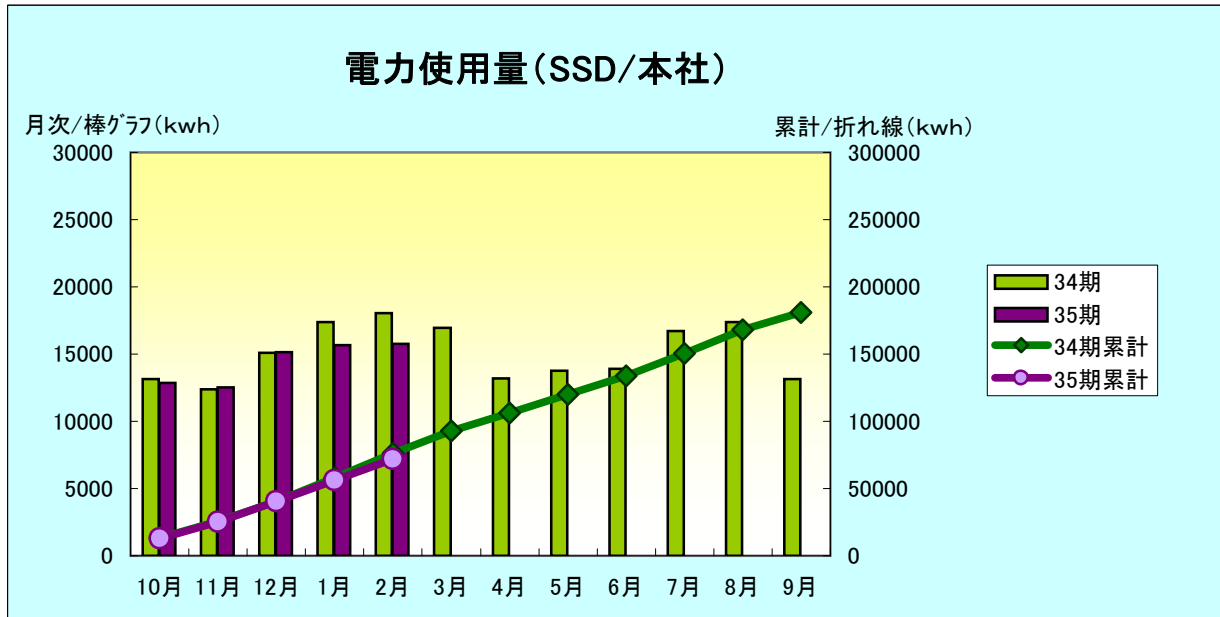


考察:

継続監視測定中

(事務局)

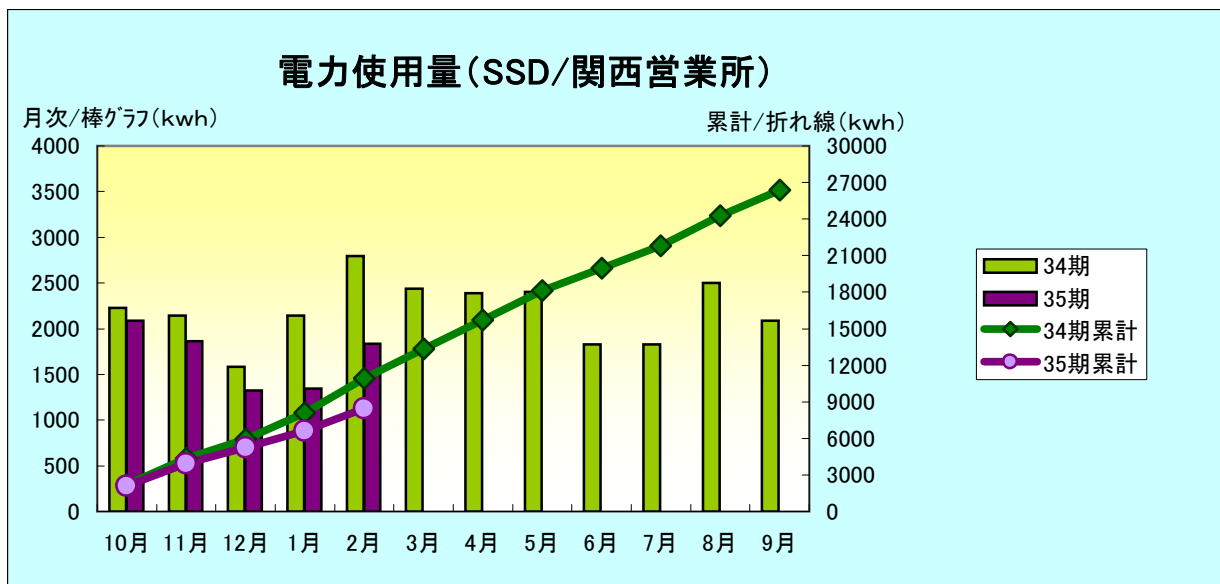
SSD(本社)



考察:

今年度も引き続き、こまめな節電にご協力をお願いいたします。(事務局)

SSD(関西営業所)

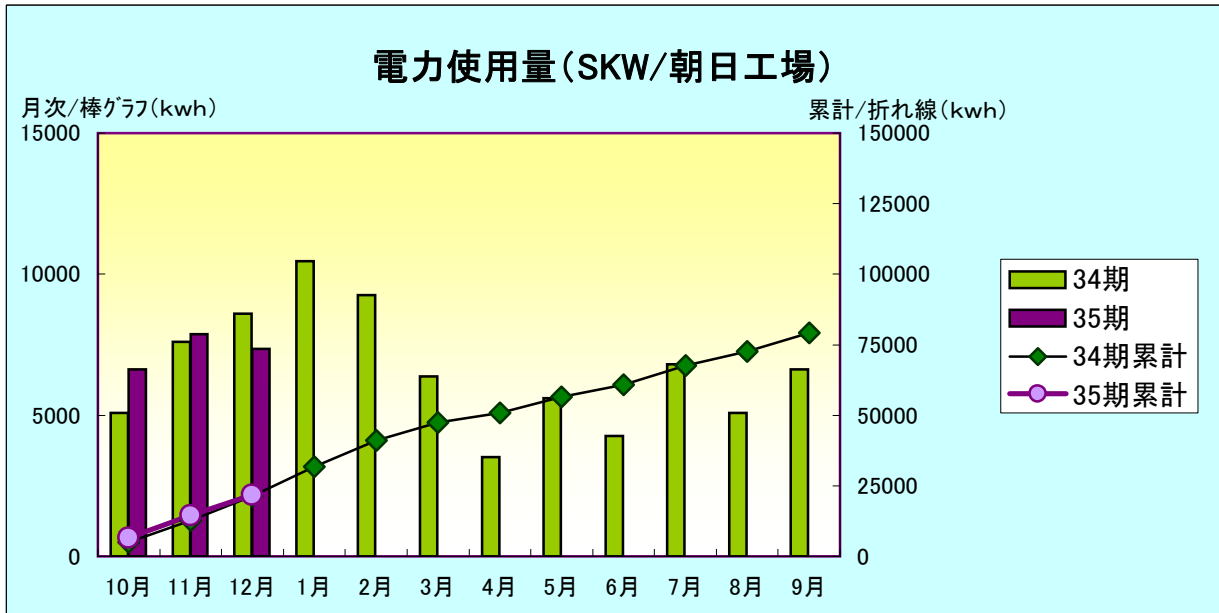


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SKW(朝日工場)

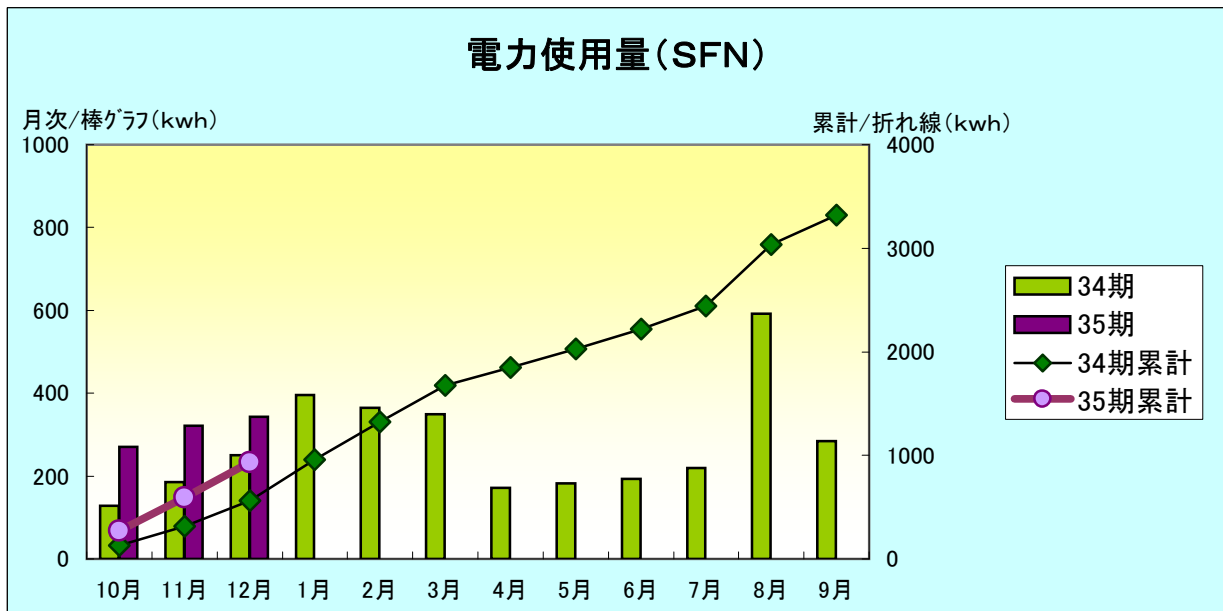


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SFN



考察:

3ヶ月更新の為継続監視測定中

(事務局)

環境学習施設の紹介

埼玉県に加須市にある「埼玉県環境科学センター(CESS)」に行ってきました。

CESS HP ⇒ <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/cess-shisetsusuyokai/>

今回、施設に入場した際は、閑散としていましたが、通常は団体の利用者が多いとのことでした。
(団体の利用者は埼玉県内だけでなく関東圏内からも訪問されるとのこと)

尚、主な対象者は小学校高学年とのことで、環境問題を分かりやすく伝える仕組みが多く見られました。

環境問題を扱う展示館は大きく分けて**3つのブース**がありました。
(それぞれテーマが決まっており、その内容に合わせたコーナーが設置されています)

1.地球環境はいま...

宇宙から地球をみつめながら、多くの生き物が生息する美しい地球の様子と、地球がさらされている危機的状況を訴えています



A.直径3mの球面スクリーンを使用し、世界の環境問題を学べます

B.環境問題をテレビゲーム感覚(クイズ形式)で学べます

C.レッドリストに掲載されている絶滅のおそれのある野生生物の名前が網羅されています

2.くらしのむこうに地球がみえる

食生活や水、ゴミ、車社会、電気、住宅など日常生活での身近な題材を通して、私たち自身と環境問題、とりわけ地球温暖化との関わりについて認識を促すための展示をしています



D.エコドライブをゲーム感覚で学べます

E.季節の食品を学べます(旬の食品を食べるとエコにつながります)

F.何がどのようにリサイクルされるか、Before⇒Afterの形式で見ることが出来ます

G.4人家族が一年に出すゴミの量を見ることが出来ます

3.あなたが私が地球を救う

地球市民として、地域から世界へと広がる環境問題について一人ひとりが主体的に行動するよう働きかけています



H.世界で起こっている環境に関連する事柄が記載されています

I.埼玉県内で取り組んでいる環境活動が紹介されています

少々交通が不便な場所にありましたが、環境問題を把握する、又、考えるきっかけを得るには、とても良い施設でした。

一度体験しても、また訪問したいと思える仕組みやイベントが今以上にあり

より多くの人に興味を持ってもらえるのではないかと思います。

皆さんのお住まいの近く、又、お出かけ先の近くに環境問題等を学ぶことが出来る施設があるかもしれませんので、機会があれば訪問してみると今とは違った視点で環境問題について考えることが出来ると思います。

今回学んだことを活かし、今後も環境活動に取り組んでいきます。(管理部:担当)

